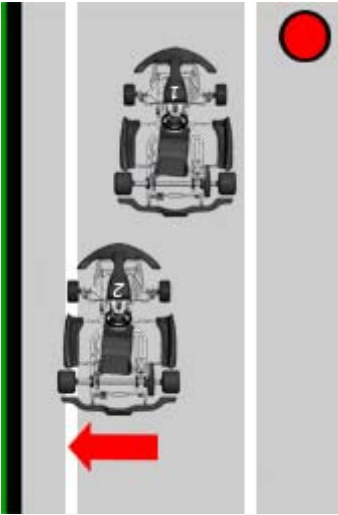
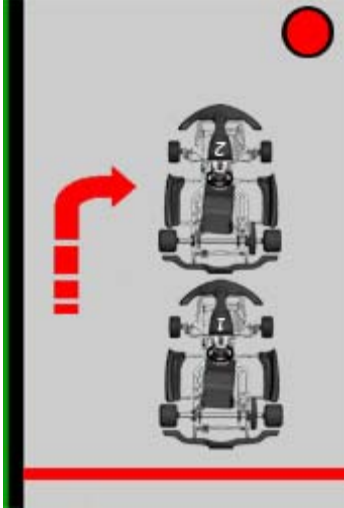
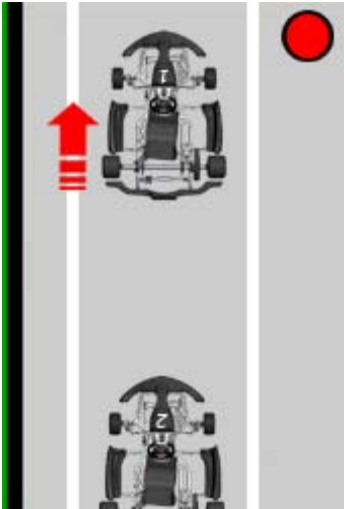


反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R01</b></p> <p>フラッグ無視</p>	<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗に従わないことをフラッグ無視とします。</p> <p>これは、旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。</p> <p>一般的な違反は以下の通りです</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 黄旗区間での前車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為</li> <li>2, オレンジボール旗、黒旗提示を無視し、レースを続ける</li> <li>3, 青旗の振動に対しラインを譲らない</li> <li>4, 白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない</li> <li>5, 白地に赤×ボードや、青赤旗の無視</li> <li>6, その他</li> </ol> <p>※旗によってはドライバーサインを必ず出さなくてはなりません</p> <p>JAFの本規則と若干相違がありますが、瑞浪シリーズでは右欄の中から判断選択をします。</p> <p>※イエローコーション開始の合図や黄旗、その他の指示旗や提示ボードを無視した場合も対象です。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>旗無視；注意または警告旗の提示を無視しレースを継続した場合；失格</p> <p>公式練習中の違反の場合、TT成績に対し、タイム加算</p> <p>TT中の違反に対して、成績に0.25~1秒加算</p> <p>黄旗無視での追い越しは、状況によって秒加算や1周減算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p>
<p><b>R02</b></p> <p>白黒旗</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, ローリング隊列を乱すような行為には積極的に白黒旗が提示されます。その対象者はスタート後の白黒旗と累積になることはありませんが、スタート後に、白黒旗を受けるような行為を2回繰り返した場合、黒旗が提示され、競技長の元に出頭し、確認後に競技裁定となります。また、白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません</li> <li>2, 危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。再度、その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象者は競技長も元に出頭し、確認後に競技裁定となります。白黒旗は他のヒートにまたがって累積することはありません</li> </ol> <p>※瑞浪では、白黒旗を提示する前に、ペナルティボードで警告をすることがあります。</p> <p>プッシングボード、幅寄せボード、その他をゼッケンと一緒に提示します。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>白黒旗-1回目は警告</p> <p>同一ヒート累積2回目はヒート失格の場合あり。</p> <p>ただし、スタートを切る前の白黒旗は累積にカウントしない。</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R03</b></p> <p>チェッカー旗 および ダブルチェッカー</p>	<p>1,チェッカー旗を受けたが、安全なスピードまで落とさない場合や前車を追い越した場合</p> <p>2,チェッカー旗を受け、レース終了となったにもかかわらず、再度、コントロールラインを通過し、チェッカー旗を2回受けた場合</p> <p>3,チェッカー旗を受けたあと、減速せずにスピンやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>前車追い越し、スピードを落とさない行為やダブルチェッカーは<b>嚴重警告</b></p> <p>または<b>1~10秒加算</b></p>
<p><b>R04</b></p> <p>車両違反 および 服装違反</p>	<p>テクニカルレギュレーションに定められた全ての部品を装備していなかった場合を車両違反とします。 レース前、レース中、レース後、発生する時期は問いません。 同様に利益が有るか無いかも問いません。 ヒート後の車検時の状態を判断の基準とします。</p> <p><b>特徴的な違反は以下のものです</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1,重量不足</li> <li>2,間違った寸法や違反部品の使用等</li> <li>3,間違った燃料、違法オイル、クーラント使用、その他...</li> <li>4,タイヤへの加工、薬品の塗布など (タイヤ検査機 Mini Rae)</li> <li>5,違法な改造</li> <li>6,ドライバーの安全装備義務違反</li> <li>7,吸気、排気装置のトラブルや脱落があっても、レースを止めなかった場合 ※この場合、安全上問題があると判断した場合、その限りではありません</li> <li>8,オレンジボール旗によって、レースを終えた場合</li> <li>9,その他</li> </ol>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>違反は基本ヒート失格</p> <p>安全装備違反等は成績に<b>1~10秒加算</b></p> <p>または<b>3~10ポジションダウン</b></p> <p>※吸気、排気装置のトラブルや脱落があり、競技を止めた場合 ↓ <b>競技 DNF</b></p> <p>安全上問題があると判断した⇒<b>オレンジボール旗</b>の提示もありうる</p> <p>※競技を止めない場合 ↓ <b>黒旗にて競技裁定</b></p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R05</b></p> <p>ローリング隊列違反 および ヒーティング</p>	<p>ローリング隊列のスピードを著しく乱す行為や、ローリング中の隊列を守れない走行、他車と接触しそうな激しいヒーティング行為やプッシング等によって競技進行を遅延させた場合。 ホームストレートの誘導白線からの車体半分以上のはみ出しも隊列違反です。</p> <p>先頭の左右2台は隊列を守り、スピードを整える義務があります。 PACE DOWN ボードや PACE KEEP ボードを確認しなくてはなりません。 この義務を怠った場合ペナルティの対象となります。</p> <p>注1) ヒーティング行為のペナルティは、2列の隊列を形成した時点から対象となります。2列になる前のウオームアップ走行中のヒーティング行為は認めますが、危険とみなされる走行行為に対しては、ペナルティが課せられます。</p> <p>注2) 練習走行やタイムトライアル、イエローコーション中も対象です。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合 赤旗後に最後列へポジションダウン または、成績に1~10秒加算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p>
<p><b>R06</b></p> <p>スタート隊列違反 および スタートディレイの 赤旗起因</p>	<p>スタート合図が出る前に、2番のカートのように、誘導白線からカート車体の半分以上がはみ出し、追い抜きの行為を早く始めることを<b>スタート隊列違反</b>とします。 ※フライングスタートともいう</p> <p>2番のカートが、単にラインに触れたり、タイヤがはみ出す程度は違反と判断しません。</p> <p>また、25mライン通過後、前方のカートが失速(前々車との間隔が1台以上開く場合)した場合や前車との衝突を避ける行為、車両トラブルで速度が上がらないカートをパスする行為は認められます。</p> <p>スタート前のローリング隊列走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって、競技を継続できないような原因を発生させ、<b>赤旗によってスタートを遅延させた場合</b>、その対象ドライバーは、再スタートの際、最後列に下がるものとします。</p> <p>また、<u>対象ドライバーが複数</u>いた場合のスタート順は、協議の上決定します。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p> <p>赤旗起因車両は、最後尾に移動し、再スタート</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R07</b></p> <p>ポジション復帰禁止エリアでの復帰</p>	<p>ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア（コース図に指定箇所表示あり）に入ってから、2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジション復帰した場合。</p> <p>※ドライバーマナーとして、元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。</p> <p><b>強引に入り込み</b>、隊列を大きく乱したり、事故を招いた場合、危険行為と判断されます。また、ポジションを開けない行為はペナルティの対象とします。</p> <p>注意；前方のカートが車両トラブルで加速出来ないと判断した場合、その車両を抜いてもペナルティにはなりません。</p> <p>&lt;ローリングの隊列に大きく遅れた場合&gt; 対象ドライバーに白地に赤 X 印のポジション復帰禁止ボードを提示します。提示されたドライバーはローリングの最後尾へ付かなければなりません。ミススタートや赤旗による再スタートの場合でもポジションは変わりません。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、<b>ヒート失格</b></p> <p>または、成績に<b>1~10秒加算</b></p> <p>または<b>3~10ポジションダウン</b></p>
<p><b>R08</b></p> <p>ジャンプスタートおよびニュートラリゼーション解除後の再スタート違反</p>	<p>下記項目を<b>ジャンプスタート</b>とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1,スタートが切られる直前に、1番のカートがアクセルを大きく踏みこみ1番のカートと2番のカートの間にカート1台分以上間隔が開くような行為の場合</li> <li>2,リタイア等によって前方のカートがない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合</li> <li>3,スタートする前に自発的にスタートポジションを上げた場合</li> <li>4,ニュートラリゼーション解除後、再開を指示するグリーンフラッグは、コントロールライン横のメインポストで振られます。</li> </ol> <p>競技再開後の追い越しは、コントロールラインを過ぎなくてはならず、ライン手前で追い越しをした場合、再スタート違反ペナルティとなります。</p> <p>※1番のカートが元の位置に戻った場合やスタートが切られなかった場合は、ジャンプスタートとみなしません。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>または、成績に<b>1~10秒加算</b></p> <p>または<b>3~10ポジションダウン</b></p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R09</b></p> <p>ショートカット</p>	<p>2番のカートのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することを<b>ショートカット</b>とします。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1,2番のカートが順位を上げるか、その周回タイムが明らかに速かった場合</p> <p>2,1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで被害を被った場合</p> <p>3,1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで順位を下げたり、リタイアした場合</p> <p>※停止しているカートやトラブルで失速したカートとの接触を避ける場合はこの限りではありません。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p>
<p><b>R10</b></p> <p>ジグザグ行為 および レーンチェンジ行為</p>	<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することを<b>ジグザグ行為</b>とします。</p> <p>2番のカートから、1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用されます。</p> <p>特徴的な違反は以下のものです</p> <p>1,後方にあるカートの位置を目視で確認し、わざと走行ラインをずらしジグザグ走行によって抜かれないようにする行為</p> <p>2 レース中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方のカート進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言ひ、レース中の蛇行走行をジグザグと言ひます 呼び方としては、悪質なブロック走行と呼ぶ場合もあります</p> <p>※ニュートラリゼーション中も、ジグザグ走行は禁止されます。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R11</b></p> <p>カットイン コーナリング時の 走路妨害</p>	<p>1番のカートが2番のkartの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することを<b>カットイン</b>とします。 これは双方のkartが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のkartが1番のkartの少なくとも1/3以上（2番の前輪が1番の後輪より前）の位置にいた場合に判断されます。</p> <p><b>ペナルティの判断</b></p> <p>1番のkartがカットインの行為をした場合 2番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のkartがダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合</p> <p>※1番のkartが2番のkartの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算</p> <p>または3～10ポジションダウン</p>
<p><b>R12</b></p> <p>エッジイン 無理な突っ込み</p>	<p>2番のkartが十分な隙間がないのに、1番のkartの内側に入っていくことを<b>エッジイン</b>とします。</p> <p>※例：スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合など。または適正な減速をする様子がない行為</p> <p>2番のkartの多くの部分が1番のkartのイン側にいる場合、または2番のkartが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p><b>ペナルティの判断</b></p> <p>2番のkartがエッジインの行為をした場合 2番のkartが順位を上げた場合 1番のkartが順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のkartがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算</p> <p>または3～10ポジションダウン</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R13</b></p> <p>プッシュアウト 幅寄せ</p>	<p>1番のカートがラインを変更して2番の車を完全に、または部分的にコース外に追いやることを<b>プッシュアウト</b>および<b>幅寄せ</b>とします。 これは双方の車が接触したか否かは関係ありません。 2番の車が1番の車の少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p><b>ペナルティの判断</b></p> <p>1番の車がプッシュアウトの行為をした場合 1番の車が順位を上げたとき 2番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番の車がダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合 1番の車が危険行為と判断された場合 ※1番の車が2番の車の走行ライン(車体1台分が基準)を残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示 または、ゼッケンと幅寄せボード提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、当該ヒート失格</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p>
<p><b>R14</b></p> <p>プッシング 後方からの接触</p>	<p>2番の車のフロントが1番の車のリア部分に接触することを<b>プッシング</b>とします。また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。 下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番の車が利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p>&lt;対象となりやすいエリア&gt; コーナーへの進入区間/旋回区間などの後方からの接触が危険なエリア</p> <p><b>ペナルティの判断</b></p> <p>2番の車がプッシングの行為をした場合 2番の車が順位を上げた場合 1番の車が順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番の車がダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイアした場合 2番の車が危険行為と判断された場合 ※1番の車が失速などによって起因した後部からの接触は、プッシングと判断しない場合があります。</p>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示 または、ゼッケンとプッシングボード提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、当該ヒート失格</p> <p>または、成績に1~10秒加算</p> <p>または3~10ポジションダウン</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<p><b>R15</b></p> <p><b>危険行為</b></p>	<p>下記項目を<b>危険行為</b>とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>減速をせず、無理な進入速度で多重クラッシュを招く行為</li> <li>走行ラインを残さず、危険なブロックによって相手をつぶす行為</li> <li>コース上に停止してしまい、その後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合</li> <li>停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートした場合</li> <li>事故停止カートやコースアウトしたカートを、放置し障害物とさせる行為</li> <li>コース上から競技中にコースを横断したり、他者に物を投げる行為</li> <li>コースを逆走し事故を招く行為</li> </ol>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告や白黒旗提示</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、当該ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算</p> <p>または3～10ポジションダウン</p>
<p><b>R16</b></p> <p><b>ピットエリア違反行為</b> および <b>ピットロード違反行為</b></p>	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの<b>違反行為</b>とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合 ピットロード徐行違反と判断されます</li> <li>ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合 ピットスルー危険行為と判断されます</li> <li>指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合がピットエリア違反行為と判断されます</li> <li>ピットエリアからの再スタート時、押しがけサポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合</li> </ol>		<p><b>ジャッジ</b></p> <p>軽度⇒警告</p> <p>悪質な場合や他の違反行為と重複した場合等は、当該ヒート失格</p> <p>または、成績に1～10秒加算</p> <p>または3～10ポジションダウン</p>



反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<b>R17</b> ダミーグリッド違反行為	1,ダミーグリッドに入ったあと、工具を用いた車両整備を行った場合 2,指定した時間内に、ダミーグリッドに入らなかった場合 3,本コース上でスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合 4,赤旗中断後、競技委員から指示が出る前に、工具を用いた車両整備を行った場合、ケミカルを使用したり給油を行った場合 5,レース終了後、検査を受ける前に不良個所を修正した場合 6,ダミーグリッドからのスタート時、押しがけサポート区間を過ぎても、登録ピットクルーがサポートを継続した場合	※左記事項は、登録メカニックが行った行為でも、ドライバーに対しペナルティが課せられます。	<b>ジャッジ</b> 基本当該ヒート失格 または、成績に1~10秒加算 または3~10ポジションダウンの場合もあり ※レース除外処置の場合もある
<b>R18</b> その他の競技違反	1,公式練習に参加する意思がなかった場合、当該競技除外とします 2,競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合 3,ピット・パドックで火気を扱ったり、喫煙した場合 ※基本、火器の使用は禁止ですが、主催者に確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。 喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告、2度目の行為が発覚した場合はペナルティが入ります 4,エンジン暖気場所以外で、エンジンのから吹かしを行った場合 ※ダミーグリッドでエンジン始動チェックは行えますが、暖気場所を設定したにも関わらず、その指定箇所以外でエンジンのから吹かしを行った場合、その対象ドライバーにペナルティが入ります。 5,ドライバーズブリーフィング（ミーティング）を不参加した場合は罰金 6,レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らなかった場合 7,記載なき新規の競技違反に関する事項を守らなかった場合		<b>ジャッジ</b> 軽度⇒警告 悪質な場合は競技失格や競技施設からの退去指示 または、成績に1~10秒加算 または3~10ポジションダウン ※レース除外処置の場合もある ※罰金は1万円

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
<b>R19</b> ドライバーモラル	1, ドライバーサインを出さない場合 2, 競技役員、コース委員・オフィシャルからの指示を無視した場合 3, 走行中に、競技相手を挑発したり威嚇する行為をした場合 4, 他人への言葉による脅しや侮辱、暴力行為をした場合 5, パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車輛の乗り入れ 6, 競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず、競技委員に怒鳴り込んできたり、暴言を吐くドライバーやエントラントの行為 7, 競技規則を読まず、理解せず、競技委員にクレームを入れる行為 8, 工具やケミカル用品を持って走行した場合		<b>ジャッジ</b>  軽度⇒警告  悪質な場合は競技失格や 競技施設からの退去指示  または、成績に1~10秒 加算 または3~10ポジション ダウン
<b>R20</b> 走路妨害	公式練習やタイムトライアル中、自分の位置取りのため、走行ライン上でドライバーサインを出さず減速や加速行為を繰り返す危険な走行をし、後方からの衝突を招く行為に対し審議されます。 また、すでにタイムトライアル走行に入っているカートの走路妨害行為に当たる走行は、厳しく審議されます。		軽度⇒警告  TT中の違反に対して、 成績に0.25~1秒加算
抗議	競技判定に関する抗議は、ヒート終了後30分以内まで		抗議料 ￥20,300-

以上、R1 から R20 までのペナルティジャッジは目安ですので、記載されていない行為でも競技委員の判断によりペナルティとなる場合があります。  
また、競技役員やレース大会の格式によって、表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。

【ご注意】 審判判定は競技規則の改定などにより毎年変更されることがあります。

- ※1、レース競技状況により、ペナルティの判定が遅れ、ヒート終了直後に発表出来ない場合があります。
- ※2、暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティの判定等によって成績が変動する場合があります。



フェスティカサーキット

ペナルティーカタログ作成の主旨

本ペナルティーカタログは、競技の安全と参加者からの信頼を得る運営進行を最優先と考え、ドライバー・エントラント、主催者・オフィシャルすべてがスポーツマンシップを持ち、本大会へ挑む事がポリシーと考えています。

- ・スポーツマンシップに準じ、技術向上と選手育成を目指します。
- ・大会に関連する参加者すべてのマナー向上を目的とし、安全で公平なレース運営を目指します。

「2018年3月31日作成」